令和８年度　授業改善推進プラン　　６年　　小平市立小平第十一小学校

教科等	授業改善の視点	児童の学習状況	改善の計画と評価の方法
国語	①　対話を通じて、考えを広げたり深めたりする場を設定した授業の実施 【基礎的・基本的な学習の定着、主体的・対話的で深い学びのある授業】 ②　児童同士が学びを共有しながら問題を解決する授業の実施【ICT 機器の活用】	①　全国学力学習状況調査では、多くの設問において本校の平均正答率は東京都の平均正答率を上回ったが、「話すこと・聞くこと」の一部の設問において、東京都の平均正答率を下回っている。 ②　同調査において、選択式問題に比べ、短答式問題および記述式問題の本校の平均正答率は東京都の平均正答率を大幅に上回っている。また、無答率も東京都の無答率と比較して低いが、選択式問題に比べると記述式問題の無答率が高い。	①　「話すこと・聞くこと」の単元の学習だけでなく、自分の考えを話して伝えたり、他者の考えを聞いたりする活動を設定することで、思考力・判断力・表現力等の向上を目指す。 ②　授業支援クラウドで、他者の学習状況や記述内容を参照できるようにしたり、共同編集ができるようにしたりすることで、多くの児童が文章で書き表す活動に取り組みやすくする。
社会	①　学ぶ楽しさを実感させる授業、個に応じた指導の充実 【基礎的・基本的な学習の定着、主体的・対話的で深い学びのある授業】 ②　ICT 機器を用いた課題把握や課題解決活動の充実【ICT 機器の活用】	①　学習内容に興味・関心をもって取り組んでいる児童が多い。資料をもとに調べたり、まとめたりする活動の深まりには個人差が大きい。 ②　ICT 機器を通して提示される社会的事象に対して興味がもてる児童が多い。事象を関連付けたり多角的に考えたりする力を伸ばすことが課題である。	①　時事的な話題を生活と結び付けたり、過去の歴史と現在の状況の関連に注目させたりすることで、学習への意欲を高めていく。 ②　課題解決学習の、課題把握や課題解決のためのデータ資料を送ったり、学習のまとめや振り返りに活用したりして個々の学習を充実させる。
算数	①　「問題発見」「自力解決」「集団検討」「統合的・発展的な考え方」の学習過程を主体的に取り組めるような授業形態・内容・方法の工夫 【基礎的・基本的な学習の定着、主体的・対話的で深い学びのある授業】 ②　ICT 機器を用いた課題把握と振り返りの充実【ICT 機器の活用】	①　全国学力学習状況調査の結果において、知識及び技能の観点では校内平均正答率は 67.9%となっていて都平均より 0.8 ポイント、全国平均より 7.8 ポイント上回っている。思考力・判断力・表現力等では校内平均正答率は 52.1%となっていて、都平均より 1 ポイント、全国平均より 2.3 ポイント上回っている。しかし、学年全体では学習の定着に差が見られる。そのため、主体的・対話的に学習に向かえる児童と困難な児童を含む様々な児童がいる。 ②　課題の提示や学習の振り返り等で学習支援アプリを活用し、課題把握や考えの共有がスムーズにできている。	①　集団検討場面で学習集団同士の考えを共有し、問題解決の方法について学び合う機会を充実させることで、児童の意欲喚起につなげる。 ②　授業の導入時、既習の学習を振り返る。問題や課題を提示する際には、具体的な場面を提示、例示し、問題場面を想起させやすいような学習内容の工夫をする。
理科	①　問題解決の過程を通して、理科的な資質・能力を習得できる活動の充実 【基礎的・基本的な学習の定着、主体的・対話的で深い学びのある授業】 ②　ICT 機器を用いた課題把握と振り返りの充実【ICT 機器の活用】	①　実験には大変意欲的に取り組むが、実験結果を踏まえて、自分の考えを考察に表現したり、結論を導き出す力をさらに伸ばしたりすることが課題である。また、より多面的に調べる力を伸ばす必要もある。 ②　学習支援アプリを、課題の把握や、結果の記録、振り返りに活用している。考えを深めるために児童同士の対話をより活発にできるようにすることが課題である。	①　単元の初めの自然事象の提示や問題の設定を丁寧に行い、児童の結論を導き出したいという意欲を高める。さらに、他グループと結果を比べたり、友達と考察を共有したりすることで自分の考えを深め、表現できるようにする。また、既習事項を生かして、自ら実験方法を考える時間を確保する。 ②　資料の提示、振り返りの記入として ICT 機器を活用する。学習支援アプリを更に活用し、自分の考えを共有して対話していきそれによって自分の考えを深められるようにする。
音楽	①　学ぶ楽しさを実感させる授業の充実 【基礎的・基本的な学習の定着、主体的・対話的で深い学びのある授業】	①　ほとんどの児童が主体的に授業へ参加しており、少人数での歌唱やグループでの合奏に意欲的に取り組んでいる。	①　指導内容を焦点化し、相互意見交流や音楽表現を介した交流を通して、音楽表現を深めていく。録音や録画を活用して、演奏を振り返り、次の課題の見通しをもって主体的に活動できるようにする。

	② 興味・関心を高め、理解を深めるための ICT 機器の活用 【ICT 機器の活用】	③ 楽譜に示された旋律の音の動きやまとまり、記号などから気付いたことと曲想との関わりについて理解し、さらに自分たちの思いや意図に反映させて表現することに課題がある。既知の要素を意識して、協働的に表現を創意工夫する過程を重視し、手段と結果の関係付けを発揮させながら、技能が高まっていくように支援していく。	② 比較関連させる授業で、要素とその働きの視点から分析的に示し、言葉と音をつなげることで考えを広げ、深めていくことができるようにする。ICT 機器を活用し、思いや意図を視覚化できる教材教具を用いる。ワークシート等を活用することで、自分の考えを省察したり、自分自身の学習を評価したりして、自分自身で課題を選択、設定できるようにし、主体性をもって技能の習熟を図るようにする。
図画 工作	① 学ぶ楽しさを実感させる授業の充実 【基礎的・基本的な学習の定着、主体的・対話的で深い学びのある授業】 ② 振り返り活動の充実 【ICT 機器の活用】	① 日常の授業の様子から多くの児童が主体的に授業へ参加している。苦手意識のある児童もいるが、友達と交流をしながら前向きに参加している。 ② 制作活動中や制作後に互いの作品を鑑賞し合い、互いのよさを見付けたり自分の表現に生かしたりすることができる児童が少ない。	① 引き続き児童が表し方や材料を自ら考えたり決定したりすることができる授業づくりに努め、今後も児童が主体的に学習に参加できるようにしていく。 ② 作品完成後だけでなく、制作活動中であっても互いの作品を鑑賞したり互いに相談し合ったりしながら問題解決ができるように授業を展開していく。また、ICT 機器を使用して作品の共有を行い、学びを深めていけるようにする。題材末の児童の振り返りなどから授業者の授業改善を振り返る。
体育	① 自己の課題に合わせた体育的活動の充実 【基礎的・基本的な学習の定着、主体的・対話的で深い学びのある授業】 ② ICT 機器を用いた課題把握と振り返りの充実 【ICT 機器の活用】	① ほとんどの授業が主体的に授業に参加している。単元によっては、すすんで学習に取り組めていない児童が若干見られるため、より意欲的に取り組めるように工夫が必要である。 ② 動きのポイントを理解していても、自己の課題を適切に把握したり、その後の運動に生かしたりすることができていない児童がいるため、自身の実態を把握することが必要である。	① 運動に苦手意識がある児童も意欲的に取り組むことができるよう、運動領域の中でも取り組みやすい技や動きをはじめに紹介したり、主運動につながる運動に取り組んだりする。また、ボール運動領域等では、ルールを簡易的にしたり柔軟なルールを考案したりしてすべての児童が取り組みやすい工夫をする。 ② 運動のポイントを写真や動画で示すことに加え、ポイントと自己の動きを比較できるように、ICT 機器を活用し自分の動きを撮影して把握できるようにする。また、撮影した映像などを用いてポイントと照らし合わせながら振り返りを行う。
家庭	① 考える時間が確保された授業の実施 【基礎的・基本的な学習の定着、主体的・対話的で深い学びのある授業】 ② ICT 機器を用いた言語外情報としての視覚教材の活用 【ICT 機器の活用】	① 児童アンケート項目「すすんで学習している」に対して、肯定的な回答をしている児童は約 88%だが、約 10%の児童が、否定的な回答であった。調理実習に対して興味・関心が高く、実習後の生活に活かしている児童が多くいる。その反面、自分自身の実際の生活スタイルと大きく違い、柔軟に考え直したり、友達と学んだりすることに課題が見られる児童もいる。 ② 調理実習の際、提示した動画を用いて、手順や切り方の確認など活用できている児童が多くいるが、自主的な活用には至っていない。	① すすんで取り組んだり、自分で工夫を加えたりしている児童の様子を共有し、全員が「できた」と実感できる個に応じた指導をしていき、9 割以上を継続できるようにする。ペアやグループで相談したり、教え合ったりする活動を行い、互いのよさを学ぶ時間をつくる。 ② 作業の様子を撮影したり、お手本になる画像や動画を繰り返し確認したりするなど、継続して ICT 機器の活用をすすめる。ふり返りの蓄積をして、自分の成長を感じ取れるようにする。
外国語	① 考える時間が確保された授業の実施 【基礎的・基本的な学習の定着、主体的・対話的で深い学びのある授業】 ② ICT 機器を用いた言語外情報としての視覚教材の活用 【ICT 機器の活用】	① 多くの児童がすすんで学習に取り組んでいる。 ② 言語材料に慣れ親しむ際に、言語外情報があると集中して学習に取り組むことができる児童が多い。動画や絵、写真など視覚的な補助によって理解を深められる児童が多い。	① 互いの考えや気持ちを伝え合う言語活動を通して指導を行い、児童がどういう意味なのか、考えながら英語を聞いたり、自分で考えて自分の思いに合わせて英語を発したりする機会を大切にした授業を行う。発話には recast で反応し、自分の英語が「通じた」、言っていることが「分かった」という達成感が得られるように指導する。 ② 理解促進のため ICT 機器で絵や写真を提示し、児童の興味・関心に合わせて内容を工夫する。また、ICT 機器を活用し、動画教材を使うことで児童が集中して言語材料に慣れ親しみ続け、主体的に言語材料の意味内容を捉えて習得につなげられるようにする。

道徳	① 主体的に自己を見つめ、生活に生かそうとする授業の充実【基礎的・基本的な学習の定着、主体的・対話的で深い学びのある授業】 ② ICT 機器を用いた、自己の考えを深める授業の充実【ICT 機器の活用】	① 資料から登場人物の気持ちに寄り添ったり場面から様子を想像したりすることはできるが、自己の生活に結び付けて今後に生かそうと考えることが難しい児童が多い。 ② 自分の考えをもつことに時間を要したり、表現したりすることに難しさを感じている児童が多い。	① 授業の導入や教師の説話で児童の身近にあるような話題や出来事を取り上げ、児童が自己の生活に結び付けて考えやすいように授業を工夫する。 ② 学習支援アプリ等を用いて、書くことに苦手意識がある児童も自分の考えを表現しやすいようにする。また、学習支援アプリを活用して考えを共有する時間を設け、自己の考えを深める機会を増やす。

評価の方法は、学校評価及び実施可能な教科は単元ごとのテスト等の正答率・到達率とする。